

政治・経済が停滞し迷走する今こそ、日本を変える、日本が変わるチャンスだ。



川嶋 諭 Satoshi Kawashima
 「日経ビジネス」に20年所属後、「日経ビジネスオンライン」編集長・発行人、ビジネス局長補佐などを歴任。2008年4月末に独立・創業して、新しい本格派インターネット経済メディア「JBpress」を立ち上げた。

安里「現在は、政策に関しても中央から地方へという一方通行になっています。道州制の論議が起きていますが、官僚が主導する中央の分社化としての道州制は地方を豊かにする

地方の力を発信するメディアが、地方を再生する。

川嶋「歴史的な話をすれば、明治維新前後には日本の改革を背負って立った有能な人材がさまざまな地域から出ています。山口の高杉晋作、大分の福沢諭吉、鹿児島島の西郷隆盛、高知の坂本龍馬、京都の岩倉具視、江戸の勝海舟……。当時は中央イコール全てではなかったのです。郷土の文化や教育、伝統を背景に持った人材が、地方から中央を動かしていったのです。」



◎対談
 日本青年会議所会頭 安里 繁信
 × JBpress編集長 川嶋 諭

日本再生の鍵は、
 地方再生にある。

Shigenobu Asato

Satoshi Kawashima

JCの取り組みとして、地方経済の活性化にどのようなアイデアをお持ちですか？」

安里「地産地消の促進ですね。たとえば、学校給食も週に一度は地方の材料でメニューをつくる……。こうした地域振興の取り組みを地元の経済人や、第一次産業の方々とコンセンサスを取りながら進めています。税金をあてにしながら、経済主導で地方が自立できる仕組みをつくっていく必要があります。」

川嶋「跡継ぎを育てたくなる。そんな土壤をつくり、人材を育てていくことですね。」

安里「地方の経済人の方々とお話しするとやはり、お国自慢になります。すると皆さん、地元出身の偉人の名前を出されるので、口ごもってしまう。そこで、私は現代版「お国の偉人を育てよう」と言っています。」

「世界」「地方」「日本再生」を中心テーマにした記事とコラム。

- 「世界を知り、日本を知る」をコンセプトに、既存のマスメディア報道がカバーしていない海外や日本の地方の経済情報にフォーカス。
- ニュースの背景や解説を盛り込んだ「深い」経済情報を月～金更新で発信。
- ビジネスのヒントとなる日本各地のユニークな企業や地域振興の取り組みを紹介。また、視野を広げるリアルな国際政治・経済情報をお届けします。

（記事とコラムのカテゴリー）

海外	地方	日本再生
オピニオン	経営	ファイナンス
イノベーション	リーダーズライフ	国内提携メディア

JBpress Japan Business Press
 JBpressの記事をケータイで読める「POCKET JBpress」

本来の地方分権の主旨とは合致しません。むしろそのフォースは、地方の力を削ぐ方向に向かいかねない。現在の地方政策は国益ではなく、省益で考えられています。そこにメディアが乗り、国民は踊らされているのではないかという疑問を感じるのは当然です。」

川嶋「メディアは代弁者であってはならない。公平な視点を持つべきです。」

安里「そうですね。そして我々、情報の受け取り手も、誰がこの情報を投げているか」ということを意識し、そこに込められた意図を見抜く習慣を持つべきです。」

川嶋「メディアも改革すべき時期だと思えます。中央の画一的な情報を全国に配信するというスタイルは、地方をどこで切っても同じ、いわば東京の金太郎飴に変えてしまっ。今こそ、地方の人たちが「我々はこうやって生きていく」という独自の考えを発信することが大事なですね。それを手伝い、地方同

士の切磋琢磨を促すのもJBpressのような新しいメディアの使命であると感じています。」

安里「地方で子供たちに接していると、驚くほど現実的なのです。夢を持っている子が少ない。それも地方のミニ東京化の弊害でしょう。夢がない日本の未来をつぶらな目に映っているのです。確かに現在、日本の政治経済は停滞しています。しかし問題山積みだからこそ、逆に改革・再生していくチャンスでもある。このタイミングを大切にしながら、日本青年会議所もより良い日本のために活動していきたいですね。」

川嶋「JBpressも、地方に秘められた可能性を日本全国や世界に発信することで、新しいメディアとして日本の政治・経済の再生に役割を果たしていきたいと考えています。」

***対談の詳細は、JBpressサイトでご覧いただけます。**

地方に潜む日本の真の力が、世界に届かない理由。

川嶋「JBpressは、海外・地方・日本再生という3つのテーマから良質な情報を厳選して発信する、これまでにない経済&ビジネスサイトです。いわゆるニュースサイトではなく、ニュースの裏側を読み解くためのコンテンツを提供しています。本日は、安里会頭に地方・日本再生をテーマにお話を伺います。」

安里「日本青年会議所の第58代会頭として、私は日本再生のために『7つの疑問』というマニフェストを発表しています。この中で地方の問題点を指摘しているのですが、JBpressさんも共通の問題意識を持っているように思えますね。」

川嶋「私は日本の巨大メディアが地方から日本を弱くした、と思っています。既存のメディアは、中央の情報を一方的に地方へ発信するだけでした。地方には独自の技術やビジネスモデルを持つ企業があるのにメディアは取り上げない。したがって、地方に潜む日本の真の力が全く中央にも海外にも伝わっていない。世界から日本が忘れ去られないためには、地方を世界に、そして世界を地方に、ダイレクトにつなぐ必要があると思うのです。それが、地方の疲弊を食い止め、

地方から中央を動かすために、「現代版・お国の偉人」を育てる。

安里「地方経済を担う中小企業で後継者問題が深刻になっています。7割の企業に後継者が存在しません。子供を含めて会社を託すに相応しい人間がない、という人材的な問題がひとつ。もう一点は『誰が継いでも苦勞するのが目に見えるから、この会社は自分限りで……』という発想です。」

川嶋「業界の展望を含めて、自社の将来を悲観してしまうのでしょね。安里会頭は、



「真日本建国」を目指し、日本青年会議所の活動を牽引する安里繁信会頭。全国700余りのJCのリーダーとして、そのマニフェストには市町村のあるべき未来や全国の中小企業再生に向けた提言が盛り込まれている。一方、メディアの世界にも新たな潮流が生まれつつある。そのひとつが、地方に潜む日本の真の力に注目し、日本全国へと発信するインターネット経済メディア、JBpressの誕生だ。地方の現状と課題とは？日本再生への道筋は？JBpressの川嶋編集長と安里会頭が対談した。